

# 学びの広場

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します  
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



## 校訓「明るく・楽しく・元気よく」

～冬の笑楽校（しょうがっこう）2014～

今年で3回目となる北秋田市「冬の笑楽校」が1月10日、中央公民館で開かれ、小学生から大人まで32人が参加して年代や学校の枠を越えて交流し、地域の先生による授業を楽しみました。

1時間目の音楽は「バターもちのうた」を作った本城奈々さんを講師に歌と踊りを、2時間目の国語は、秋田北鷹高校かるた部の生徒を講師に百人一首を、3時間目の家庭では郷土料理を教わりました。さらに、午後からの秋田大学教育文化学部による「スペシャル理科実験」では、興味深い実験が行わ

れ、新しいことに挑戦しながら、ふるさとの良さを発見する授業になりました。



▲秋田北鷹高校かるた部による百人一首の模範演技

## 明日に向けた社会学

～合川公民館「第1回合川ろばた講座」～

合川公民館の公開講座「第1回合川ろばた講座」が1月22日に開かれ、40人が参加して地域の課題について話し合いました。

今回は「私の身の周りに“あったか福祉”の種を蒔こう」というタイトルで、地域福祉アドバイザーの鳥居一頼氏を講師に、参加者が小グループに分かれて話し合うワークショップ形式で進められました。

参加者は、自治会での問題点と思われるものを出し合い、それぞれの共通課題として取り組み、解決する方法を話し合いました。最初はためらいながら

でしたが、徐々に話し合いに熱が入りワークショップは盛会となりました。



▲各グループ代表者が話し合った内容を発表

## 冬の味「サバ寿しづくり」

～綴子公民館公開講座～

綴子公民館の公開講座「サバ寿しづくり」講座が1月18日に開かれ、15人が参加して麩で漬けるなれ寿しに挑戦しました。

サバ寿しは、キャベツや大根、しょうがなどと漬けこみ、冬場の保存食としてハタハタ寿しなどと共に良く食べられています。

講座では、J A鷹巣町女性部漬物加工グループの成田盛子さんを講師に、作り方の説明を受けた後、グループに分かれておいしく漬けるコツや工夫などを学びました。また、サバ寿しのほか、「ほうれん

草と鶏のスープ煮」「杏仁豆腐」なども調理し、有意義な講座となりました。



▲サバの皮むきなどのコツを学ぶ受講生

### 高校生書道パフォーマンス & 現代詩のつどい

円生涯学習係 ☎62・1130

「放て！言の葉 響け！魂」

書道と現代詩のコラボレーションから「言葉」の持つ力を学び、交流を深めながら、地域の教育力の強化と知の循環を図ります。

発表をとおして、今年10月に開催される『国民文化祭・あきた2014』への気運を高めましょう。皆さんの皆様のご来場をお待ちしています。

日時 2月8日(土) 10時～12時  
場所 交流センター  
内容 書道パフォーマンス  
現代詩の朗読  
出演者  
【書道パフォーマンス】  
▽秋田北鷹高等学校  
▽大館鳳鳴高等学校  
▽能代松陽高等学校



### 【現代詩の朗読】

朗読 成田豊人氏（北秋田市）  
平塚鈴子氏（能代市）  
工藤直子氏（能代市）  
群読 合川北小学校6年生  
朗読 鷹巣朗読ボランティア  
「やまびこ」（北秋田市）

### 合川公民館公開講座

「第2回合川ろばた講座」

合川公民館 ☎78・2114

「合川ろばた講座」を開講します。

申込みは不要ですので、皆さんお誘い合わせのうえ、おいでください。  
日時 2月20日(木) 14時30時  
場所 合川農村環境改善センター  
内容  
○報告 合川中学校「北秋田発！合川まことび交流プロジェクト」  
○講話 「講師」NHK秋田放送局 キヤスター 阿部由佳氏  
参加費 無料

### 葛黒火まつりかまくら

町事務局 長岐賢一 ☎090・6101・8906

七日市葛黒集落の小正月伝統行事「葛黒火まつりかまくら」が10数年ぶりに復活します。

期日 2月16日(日)  
場所 七日市葛黒  
時間 ミニかまくら点灯 18時  
御神木点火 18時30分  
主催 おさるべ元気くらぶ  
無料送迎バス 利用を希望される方は必ず申し込みをしてください。  
※定員になり次第締め切ります  
▽中央公民館 16時30分  
▽七日市公民館 17時



### ふるさとの文化財

71

#### 北秋田市指定無形民俗文化財

〔民俗芸能〕

#### ○「福田獅子舞」

◇所在地 北秋田市福田  
◇管理者 福田獅子舞伝承館内  
福田獅子舞保存会

〔内容〕  
舞は五部構成となっており、目に見えない悪魔を退治し、役目を終えて天に昇る物語的舞であり、平和と五穀豊穡を願う舞です。  
〔起源〕  
日本海運によって、米代川流域にもたらされた奉納神楽を、能代港町で文化2年(1805年)頃、修業・伝授したのが始まりとされています。

村の言い伝えによれば、福田村の丑之助が大林村民と共に村人を引き連れ、習得したと言われています。

一時途絶えたこともありましたが、昭和49年熱意ある有志によって復活、翌年保存会を結成し今日まで引き継がれてきました。演目は、獅子、大獅子の舞の他に、奴踊り、萬歳、大名行列などがあります。

現在、「大獅子舞」だけを継承しています。

#### 〔構成〕

演舞は、大獅子と獅子を誘導するささら役で構成されています。大獅子は2人立ちで、役は胎内舞人3～4人で行います。ささら役は1人で腰に刀を差し、ねじりの入った杉棒と細かく裂け目を入れた竹棒を使い、音を出して獅子を操ります。囃子方は、笛・太鼓で構成され、衣装も昔から継承された装束となっています。保育園児、小中生で演じる子ども獅子舞もあります。

※ささら：竹を細かく割って束ねた、桶などを洗う道具

◇毎年8月14日公開(原則盆期間中)。北秋田市民俗芸能大会、秋田県民俗芸能大会に出演のほか、地域行事へも参加している。

\*獅子おろし8月7日、祭礼9月10日、獅子納め9月20日  
▽平成5年10月28日指定文化財  
▽資料/北秋田市教育委員会作成  
資料、保存会  
資料、「広辞苑」、聞き取りほか  
▽紹介者/北秋田市文化財保護審議会委員 照内捷二



福田獅子舞